



11月 えんだより

育ちの節目に感謝

「一つ、二つ、三つ、四つ、五つ、六つ、七つ、八つ、九つ、十（とお）。」
同じ繰り返しのある数え方は、乳幼児にも優しく心地よく聞こえます。

ところで、「九（9）」までは語尾に「つ」が付きますが、「十一（11）」以上になると「つ」を付けずに数えます。そして、何故かこの境目の「十」だけ「とお」と特別な読み方をします。

昔の日本では、子どもが3歳・5歳・7歳と、それぞれまで無事に生きること自体が本当にありがたかったのです。ですから、「七五三」として子どもの節目の歳に神様に感謝してきました。お寺にも節目ごとにお参りすることも同様に感謝の習わしなのでしょう。これらとも関連しますが、「一つ、二つ、…」と数えるのには、どのような意味があるのでしょうか。

「子どもは神様からの授かりもの」といいますが、「子どもは、人間が神様からお借りしている」と考えるのだそうです。始めは3歳までお借りします。しかしながら、子どもを病気などで育てることができないときも少なくはありませんでした。そんな際、親の沈痛な気持ちを少しでも和らげるために、「子どもをもととの神様にお返しするだけ」と思うようにしたのです。

次は5歳までお借りし次は7歳までと、親は神様からあずかっている子どもだからこそ、より責任をもって育てなければなりません。そして、無事に育つことができたなら神仏への感謝の報告です。もちろん、あずかった子どもにも感謝です。親は子に、「ここまで育ててくれてありがとう。」同時に、子どもは親に、「ここまで育ててくれてありがとうございます。」と。

現代なら、子どもの育ちの節目でもある誕生日にも同じような意味合いがあるように思います。また、他にもたくさん育ちの節目があります。

それでは、いくつまで子どもは神様のものなのでしょう。それは、歳の数え方で「つ」が付く「九つ」まで。10歳からは、「やっと自分たちの子ども」として一層愛情と責任をもって育てていくことができるのです。ですから、「十（とお）」だけ特別な読み方と意味があるのだということです。

園長 小杉 隆

交通安全教室

「ひよこかもしかクラブ」

11月のがんばりは…

『車の乗り降り』に

気をつけましょう。

- ・車の乗り降りの際は、大人がドアを開けましょう。
- ・子どもを後部座席に乗せ、大人がチャイルドシート（ジュニアシート）を確認しましょう。
- ・駐車場内、道路を歩くときは、「かもしかつなぎ」をして歩きましょう。

◆おねがい◆

【11月より暖房が入ります】

「暖房費」として、11月～3月まで毎月1,000円ずつ保育料に加算しての引き落としとなります。どうぞよろしくお願い致します。

【ごはんを温めます】

11月より、昼食時にごはんを温めますのでアルミ製の耐熱容器にごはんを入れて下さい。



11月の予定

- 1日（水） 冬期バスコース運行開始
ひよこの会⑨
- 3日（金） 休園（文化の日）
- 8日（水） 動いてあそぼう（5歳児）
- 9日（木） 避難訓練⑧
- 10日（金） 11月誕生会
- 15日（水） 動いてあそぼう（3, 4歳児）
- 18日（土） 参観日・教育講演会
※12時降園
- 20日（月） 英語であそぼう③
- 22日（水） もちつき
- 23日（木） 休園（勤労感謝の日）
- 27日（月） ひよこの会⑩

【11月の自由登園日】

4日・11日・25日



11月1日（水）より、【冬期バスコース】に変わります。

- ★アンパンマンバス1号（福山おばちゃん） 1 あお 2 オレンジ 3 ピンク
- ★すずめバス（本木おばちゃん） 1 あか 2 きいろ 3 みどり
- ★アンパンマンバス2号（齋藤おばちゃん） 1 みずいろ 2 むらさき 3 ふじいろ